



只見町ブナセンターは、アーティストの岩田とも子さん（上写真、左端）を講師に、榎戸・観察の森（ブナ林）とただみ・ブナと川のミュージアムでアートワークショップを開催しました。テーマは「ブナの森の大きな地図と小さな地図」で、ブナの森を歩きながら見つけた葉っぱや枝、木の実などを観察して、それらを使った地図を作ったり、葉っぱなどの模様をよく観察して隠されている地図を探し、描く活動を行いました。

只見子ども芸術計画 ブナの森の大きな地図と小さな地図



第1回（11月10日）のワークショップでは、参加者が、ブナ林で自然物の採集する中で、見る、触る、食べる、匂いを嗅ぐ、聞く、の五感を使って自然を体験し、採集してきた葉っぱ、枝、木の実などを手で折ったり、ちぎったりして大きな地図を創作しました。

第2回（11月17日）のワークショップでは、参加者が、ブナ林で小さなフレームを使って森の中の葉っぱや枝、石などの模様などをよく観察し、その中に隠された小さな地図（葉脈が地図のように見えたりするもの）を探していました。気に入った地図が見えた葉っぱなどは、ミュージアムに持ち帰り、それらを虫眼鏡を使ったりして観察しながら、画用紙に色鉛筆で小さな地図を描きました。

これらワークショップで完成した作品は今後町内で展示する予定です。